

## 農業情報システム

講師名	ITサービス企業、農業機械等の販売メンテナンス会社、農業法人、佐藤 宮子、農業普及技術課、1学年担任	実務経験等	ITサービス企業:ITサービス企業での勤務経験を活かし、ICTを活用したスマート農業について先駆的な取組について講義を行う。 農業機械等の販売メンテナンス会社:県農業研究センターにおける試験研究経験や農業改良普及センターにおける指導経験のほか、農業機械等の販売・メンテナンス会社での勤務経験を活かし、スマート農業の取組事例等について講義を行う。 農業法人:経営者としての経験を活かし、スマート農業の先駆的な取組について講義を行う 佐藤 宮子:パソコンスクールでの指導実績を活かし、ワード、エクセル、パワーポイントの操作等についての講義を担当。マイクロソフトのトレーナーとして、専門学校、岩手県内の職業訓練校、企業、個人向けにOffice系のソフトについて、効率的な技法やクラウドを利用した際のデータの取り扱い方などを取り入れて講義を行っている。 農業普及技術課:農業改良普及センターでの普及指導員としての経験を活かし、スマート農業についての講義を担当
-----	--	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・教養科目	全学科	必修	1	通年	45	3
使用教科書・副教材	情報リテラシー アプリ編					
授業の目的	農業におけるICT技術等に関する基礎知識を習得するとともに、活用事例等を学び応用力を養う。併せて、ワードによる文書作成、エクセルによるデータ処理、パワーポイントによるプレゼンテーションなどOA操作スキルを身につける。					
授業の到達目標	農業におけるICT技術やスマート農業とは何かを理解し、活用事例の知識を深める。 調査・研究・発表に必要なOA操作を行うことができる。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備考
5月19日	スマート農業の基本と県内取組事例	スマート農業とは何か、またその県内の取組事例から農業におけるICT技術の活用方策を学ぶ(※小テスト)	2	講義	講師:農業普及技術課
6月3日	スマート農業事例研究	スマート農業について、先進的な取組について学習する。(※レポート)	4	事例研究	農業法人 1学年担任
6月18日	農業生産管理システム	代表的な農業生産システムの操作方法を学び、効率的な農業生産手法を学ぶ。(2班に分かれて開催)	2	講義 演習	講師:農業機械等販売メンテナンス会社 1学年担任
8月20日	ICTの技術の先進事例	農業で活用・応用が期待される最新の情報通信技術と、本校での取組事例を学ぶ(※アンケート)	4	講義	講師:ITサービス企業等
10月11日	ワード	文書の作成:効率的な入力方法を習得し、書式設定を理解する。	4	演習	PJ・PC 復習問題
10月18日	ワード	表・オブジェクトの利用:目的に応じた文書の作成方法を理解する。	4		
11月22日	エクセル	表の作成:データの入力・編集が理解でき、書式設定の方法を習得する。	4		
11月29日	エクセル	グラフの作成:グラフの概要が理解でき、目的に応じたグラフが作成できる。スマート農業に関するデータの処理ができる。	4		
12月6日	エクセル	データベース:データベース機能が理解でき、並べ替え・抽出が利用できる。	4		
12月13日	エクセル	関数:関数の概要を理解し、数式の編集方法が理解できる。 条件付き書式:条件に基づいた特定のデータを視覚的に装飾できる。 ピボットテーブル:大量のデータを集計・分析する方法を習得する。	4		
12月20日	パワーポイント	スマート農業に関するデータ表現	2		
1月31日	パワーポイント	配布資料・発表用資料の準備ができ、伝え方の工夫や表現力の技術を習得できる。	4		
2月7日	パワーポイント	プレゼンテーションの評価、改善ができ、プレゼンテーション能力を高めることができる(※レポート)	4		
合計			46		

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

テスト等の得点、受講態度、提出物の内容、出席状況により評価する。  
評価割合:レポート(提出物等)60%、平常点(出席状況、小テスト)40%(前期)  
:レポート(提出物等)60%、平常点40%(後期)

履修に当たっての留意点等

受講に際しては、事前に教科書等に目を通していただくことが望ましい。授業は教科書に沿って行いが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。補足や重要事項は配布資料を参照のこと。必ず、受講後に復習問題を提出すること。